

## 水田農業をめぐる情勢

### 1. 令和4年産米価格動向（令和5年4月末）

- 令和4年産の出回りから4月末の相対取引価格は、全銘柄平均で13,862円/60kgとなり、3年産の4年4月末比+983円/60kg（108%）となっているが、2年産との対比では▲998円/60kg（93%）。
- 福島県産では、中通りコシヒカリ12,706円/60kg（前年産比+1,642円、115%）、ひとめぼれ12,635円（同+1,480円、113%）となっているほか、令和3年産の下落幅が他の銘柄と比較して少ない会津コシヒカリを除いて11%～15%上昇して推移しているが、2年産の水準を回復するには至っていない。
- 取引数量については、全国的にも前年産を下回って推移しているが、本県産も全銘柄で前年産を下回っている状況。

<相対取引価格の状況(出回り～4月末)>

（単位：円/玄米60kg税込、玄米トン）

産地	品種銘柄	4年産（令和5年4月末）		3年産（令和4年4月末）		2年産（令和3年4月末）		価格推移の状況			
		価格	数量	価格	数量	価格	数量	4年産 -3年産	4年産 -2年産	4年産 /3年産	4年産 /2年産
北海道	ななつぼし	13,997	124,943	12,696	126,740	14,832	119,642	1,301	▲835	110%	94%
青森	まっしぐら	12,757	61,651	10,870	80,780	13,321	49,160	1,887	▲564	117%	96%
岩手	ひとめぼれ	13,657	65,202	12,191	69,949	14,843	58,274	1,466	▲1,186	112%	92%
宮城	ひとめぼれ	13,717	108,646	12,864	125,125	14,733	100,388	853	▲1,016	107%	93%
秋田	あきたこまち	13,879	160,191	12,865	145,953	14,832	128,481	1,014	▲953	108%	94%
山形	はえぬき	12,976	76,477	12,091	87,242	14,085	83,338	885	▲1,109	107%	92%
福島	コシヒカリ（中通り）	12,706	30,710	11,064	34,906	13,456	23,940	1,642	▲750	115%	94%
福島	コシヒカリ（会津）	14,646	26,269	14,147	27,225	15,110	20,600	499	▲464	104%	97%
福島	コシヒカリ（浜通り）	13,179	3,729	11,741	4,354	13,871	4,492	1,438	▲692	112%	95%
福島	ひとめぼれ	12,635	15,193	11,155	18,468	13,492	9,866	1,480	▲857	113%	94%
福島	天のつぶ	12,374	11,811	11,152	14,672	12,904	14,232	1,222	▲530	111%	96%
茨城	コシヒカリ	13,095	38,851	11,459	47,585	13,707	35,752	1,636	▲612	114%	96%
栃木	コシヒカリ	13,501	57,957	12,045	68,668	14,408	39,969	1,456	▲907	112%	94%
千葉	コシヒカリ	12,670	26,517	11,447	25,834	14,108	22,198	1,223	▲1,438	111%	90%
新潟	コシヒカリ（一般）	16,578	101,557	15,617	102,793	16,750	72,245	961	▲172	106%	99%
北海道	ゆめぴりか	15,488	82,043	15,969	54,786	16,894	64,425	▲481	▲1,406	97%	92%
山形	つや姫	18,528	33,955	18,472	34,237	18,561	35,314	56	▲33	100%	100%
新潟	コシヒカリ（魚沼）	20,965	20,025	20,362	21,330	20,337	19,184	603	628	103%	103%
全銘柄平均価格、合計数量		13,862	1,744,882	12,879	1,790,178	14,860	1,505,881	983	▲998	108%	93%

- 令和4年産米の月単位の価格では、4月取引数量が各銘柄500トン以下と少なかったが、3月の取引価格と比較し、ひとめぼれ、天のつぶが1,000円以上下回ったほか本県産では各銘柄とも3月取引価格を下回った。

< 令和4年産相対取引価格の推移（月単位の取引価格） >

(単位:円/玄米60kg税込)

品種銘柄		4年				5年				出回りから 4月末平均
		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
コシヒカリ (中通り)	当月取引価格	-	12,197	12,439	12,609	12,937	13,233	13,144	12,567	12,706
	前月比			242	170	328	296	▲ 89	▲ 666	
コシヒカリ (会津)	当月取引価格	14,373	14,196	14,157	14,153	15,149	14,212	14,202	13,992	14,646
	前月比		▲ 177	▲ 39	▲ 4	996	▲ 937	▲ 10	▲ 220	
コシヒカリ (浜通り)	当月取引価格	-	13,727	12,516	13,767	13,010	12,648	13,307	-	13,179
	前月比			▲ 1,211	1,251	▲ 757	▲ 362	659		
ひとめぼれ	当月取引価格	13,101	12,478	11,771	12,530	12,545	13,008	13,018	11,951	12,635
	前月比		▲ 623	▲ 707	759	15	463	10	▲ 1,057	
天のつぶ	当月取引価格	-	12,050	12,110	11,900	12,115	12,375	12,354	11,352	12,374
	前月比			60	▲ 210	215	260	▲ 21	▲ 1,023	
新潟コシヒカリ (一般)	当月取引価格	16,751	16,510	16,636	16,708	16,634	16,542	16,510	16,542	16,578
	前月比		▲ 241	126	72	▲ 74	▲ 92	▲ 32	0	
全銘柄平均価格	当月取引価格	13,961	13,898	13,899	13,920	13,946	13,840	13,877	13,880	13,862
	前月比		▲ 63	1	21	26	▲ 106	37	40	

## 2. 令和4年産米の集荷・契約の動向（令和5年3月末）

- 令和4年産米の3月末の全国集荷状況は264.6万トﾝ（前年同月比92.9%）、契約数量は236.9万トﾝ（同97.2%）、販売数量は110.1万トﾝ（同98.9%）となっており、契約進捗は89.5%、販売進捗は41.6%と前年を上回って推移している。
- 福島県全体では、集荷数量、契約数量、販売数量とも前年を下回っており、契約進捗は89.1%、販売進捗は25.2%と契約進捗、販売進捗とも前年及び全国平均を下回って推移。
- 本県の銘柄別には、契約進捗は会津コシヒカリが前年を上回っているほかその他の銘柄は前年を下回っており、販売進捗は全銘柄で前年産を下回って推移している。

< 令和4年産集荷・販売状況 >

単位:千ト、%

区分	銘柄等	年産	集荷数量	契約数量	販売数量	契約進捗	販売進捗	契約残数量	販売残数量
福島	中通コシヒカリ	4年産	35.6	31.6	9.3	88.8	26.1	4.0	26.3
		3年産	38.4	35.0	13.4	91.1	34.9	3.4	25.0
		比率・差	92.7	90.3	69.4	▲ 2.4	▲ 8.8	0.6	1.3
	会津コシヒカリ	4年産	29.2	30.9	4.9	105.8	16.8	▲ 1.7	24.3
		3年産	30.4	31.5	5.2	103.6	17.1	▲ 1.1	25.2
		比率・差	96.1	98.1	94.2	2.2	▲ 0.3	▲ 0.6	▲ 0.9
	浜通りコシヒカリ	4年産	4.7	4.1	1.0	87.2	21.3	0.6	3.7
		3年産	5.0	4.6	1.2	92.0	24.0	0.4	3.8
		比率・差	94.0	89.1	83.3	▲ 4.8	▲ 2.7	0.2	▲ 0.1
	ひとめぼれ	4年産	21.0	17.2	5.9	81.9	28.1	3.8	15.1
		3年産	23.5	20.4	7.8	86.8	33.2	3.1	15.7
		比率・差	89.4	84.3	75.6	▲ 4.9	▲ 5.1	0.7	▲ 0.6
	天のつぶ	4年産	12.4	10.3	3.0	83.1	24.2	2.1	9.4
		3年産	17.3	14.4	4.6	83.2	26.6	2.9	12.7
		比率・差	71.7	71.5	65.2	▲ 0.2	▲ 2.4	▲ 0.8	▲ 3.3
	全体	4年産	113.7	101.3	28.7	89.1	25.2	12.4	85.0
		3年産	124.6	112.4	35.7	90.2	28.7	12.2	88.9
		比率・差	91.3	90.1	80.4	▲ 1.1	▲ 3.4	0.2	▲ 3.9
全国	4年産	2,646.0	2,369.0	1,101.0	89.5	41.6	277.0	1,545.0	
	3年産	2,849.0	2,437.0	1,113.0	85.5	39.1	412.0	1,736.0	
	比率・差	92.9	97.2	98.9	4.0	2.5	▲ 135.0	▲ 191.0	
参考 新潟	コシヒカリ一般	4年産	137.3	129.1	53.4	94.0	38.9	8.2	83.9
		3年産	124.7	114.0	52.7	91.4	42.3	10.7	72.0
		比率・差	110.1	113.2	101.3	2.6	▲ 3.4	▲ 2.5	11.9

3. 民間在庫の動向 (令和5年3月末)

- 令和5年3月末の民間在庫は、全国で251万ト(前年同月比▲19万ト)と減少。1年古米の在庫も7万ト減少している。
- 福島県の3月末民間在庫も131.7千ト(前年同月比▲8.6千ト)と減少。

< 民間在庫の推移 >

単位:千ト

区分	5年3月末	4年3月末	3年3月末	4年産-3年産	3年産-2年産	
福島	当年産	122.3	123.1	150.4	▲ 0.8	▲ 27.3
	1年古米	8.0	15.0	17.0	▲ 7.0	▲ 2.0
	全体	131.7	140.3	167.8	▲ 8.6	▲ 27.5
全国	当年産	2,180.0	2,360.0	2,450.0	▲ 180.0	▲ 90.0
	1年古米	210.0	280.0	130.0	▲ 70.0	150.0
	全体	2,510.0	2,700.0	2,650.0	▲ 190.0	50.0
(参考) 新潟	当年産	184.1	174.0	203.0	10.1	▲ 29.0
	1年古米	8.9	11.9	9.9	▲ 3.0	2.0
	全体	193.6	187.0	213.1	6.6	▲ 26.1

#### 4. 米取引関係者の需給及び価格動向に関する判断(令和5年4月)

- 米穀機構の米取引関係者の判断に関する調査によると米の需給動向の判断(DI値)は、現状48、見通し(向こう3か月)46と3月調査に引き続き基準点の50を下回り「需給が緩む」との見方が強まりつつあり、米価水準についても下降傾向にあり、「高くなる」との見方は落ち着いてきている。

<米取引関係者の判断に関する調査結果(米穀機構)の推移(DI値)>

		令和3年			令和4年								
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
主食用米の 需給動向	現状判断	24	23	27	28	27	30	33	34	37	37	35	39
	見通し判断	28	33	33	32	32	34	37	42	42	40	40	42
主食用米の 米価水準	現状判断	19	18	18	18	18	20	20	22	22	24	23	31
	見通し判断	42	46	45	41	43	44	47	50	53	56	63	63

		令和4年			令和5年			
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
主食用米の 需給動向	現状判断	46	50	50	53	53	49	48
	見通し判断	50	52	50	50	51	48	46
主食用米の 米価水準	現状判断	40	43	43	45	46	46	46
	見通し判断	63	59	57	57	56	53	52

#### 5. 令和5年産備蓄米の入札結果等

- 令和5年産備蓄米の入札は、これまで6回実施され、政府買入予定数量208千トに対して累計199,039ト、(うち都道府県優先枠174,651ト、一般枠24,388ト)が落札された。(累計落札数量の割合は、95.7%)
- 残数量8,961トについて6月27日に第7回入札実施予定。

入札回次	区分	買入予定数量	落札数量	残数量
第1回～3回	優先枠	185,314ト	174,651ト	10,663ト
	(内福島県)	27,050ト	24,773ト	2,277ト
	一般枠	22,686ト	20,886ト	1,800ト
	計	208,000ト	195,537ト	12,463ト
第4回	一般枠	12,463ト	1,365ト	11,098ト
第5回	一般枠	11,098ト	2,015ト	9,083ト
第6回	一般枠	9,083ト	122ト	8,961ト
合計		208,000ト	199,039ト 内一般枠 24,388ト	
		落札率	95.7%	

6. 令和5年産の作付動向(福島県令和5年4月末現在) **取扱注意**

- 令和5年4月末現在の作付動向を取りまとめ中であるが、主食用米については生産数量の目安(面積)を上回る状況と想定される。
- 備蓄米の一般枠の動向、全水稻作付面積の動向等不透明な要素が多い状況であるが、備蓄米の都道府県優先枠の目減り分をどのような作付でカバーするかが不明確な状況である。
- また、各地域農業再生協議会における営農計画書の取りまとめ進捗は区々であり、取りまとめが遅れている協議会では、備蓄米、飼料用米について前年産並みとしている協議会が多いと想定される状況。
- 田植後の取り組みとならざるを得ないが、下記の事項を中心に個別推進等を図りながら目安の達成を期する必要がある。

**<重点取組事項>**

- 飼料用米の取り組み
    - ・ 大規模生産者を中心とした取り組み面積の拡大
    - ・ 令和4年産飼料用米に取り組んだ生産者を中心とした再推進
  - 一般枠の活用による備蓄米の生産者結び付きの推進
- 農水省は、4月末現在の動向について、全国の作付動向(矢印表記)を公表予定。

以 上